

骨董 古美術 月刊誌

7

2022, No. 550

書の宝庫 日本

名筆をみる、よむ

明 耶 兒 名

美の仕事 茂木健一郎

ME NO ME
SINCE 1977

目ノ目

ME NO ME
SINCE 1977

[illegible]

たふし
ふし
ふし
ふし

悟りの境地を記した墨蹟

その見方と茶の湯文化

——墨蹟とはどういうものですか？

芳澤 墨蹟という文字を直訳すれば「墨のあと」つまり筆跡となりますが、書の世界でいう墨蹟とは、とくに禅僧の書を指し「禅林墨蹟」とも言います。内容としてはいくつかわかりませんが、師から弟子へと授けられる「偈」や「印可状」が最も重んじられます。偈というのは悟りの境地を漢詩文風に著したもの。印可状は禅の修行をクリアしたと認められた弟子へと授けられる、いわば卒業証書のようなものですね。このほか「額字」と言って禅寺の門などに掲げられた大字や、また私信なども墨蹟の範疇に入っています。これらはもともと中国から渡ってきた文化で、中国では

唐から宋、元の時代くらいまで禅宗が発展しました。日本では鎌倉時代の初めに純粋禅が伝えられ、当時台頭してきた武士階級と結びつき、幕府の庇護のもと、その教えは精神的支柱として、また生活規範として大いに採り入れられました。

——中国でも墨蹟は人気ですか？

芳澤 中国でも高僧の書を慕う文化はありますが、日本ほどありがたがってはいませんね。墨蹟が日本でこれほど珍重されるようになったのは、茶の湯と結びついたからです。

——なるほど、お茶ですか。

芳澤 これが厄介ですね（笑）。

——と言いますと？

芳澤勝弘

禅文化研究者

花園大学国際禅学研究所顧問

芳澤 偽物がいっぱい出てくるんです。

——あー（笑）、でも、それはなぜでしょう？

芳澤 先ほども言いましたが、墨蹟とは本来、師弟の間でやりとりされるプライベートなものです。鎌倉時代以降、中国での動乱もあって高僧たちが大陸から渡ってきましたし、逆に日本から大陸に渡る留学僧も多くいて、彼らが持ち帰ってきた墨蹟もあるにはありましたが、絶対数としては少ないものでした。ところが室町後期に茶の湯が流行すると皆が墨蹟を欲しがります。なぜなら茶道具の第一は墨蹟だからです。茶道の秘伝を伝えたという『南方録』に「墨蹟を第一とす、其文句の心をうやまひ、筆者・道人・祖師の徳を賞翫

する也」と明記されています。つまり墨蹟がなければ茶事ができないわけで、言ってみれば茶碗よりも大事なんですね。みんなが欲しがって、やがて墨蹟が高額で転売されるようになるのですが、それでも供給が圧倒的に足りない。ではどうするか。親切な人が現れて、作ってくれるわけです（笑）。だから墨蹟の文化とは、偽物の文化でもあるわけです。

——まるで現代の転売と同じ光景ですね。

芳澤 それを買うのは当時の大商人や権力者です。となると普通の禅僧では物足りなくなるわけです。たとえば大燈国師（宗峰妙超・大徳寺の開山）なんて理想的ですね。

——持つてるとカッコイイですね。

芳澤 江戸時代になると戦がなくなり、武士の仕事がなくなります。すると彼らは領地へ帰って政治を始めます。政治とはなにか、文化なんです。そして文化といえば、茶の湯。ということで大名家が始まります。となると、大燈国師がいないと、雪舟がいないと、井戸茶碗がないといかん、ということになります。そこで起こったのが有名な大燈国師の偽墨蹟事件です。

——そんな事件があったんですか？

芳澤 織田有楽斎が大徳寺の松岳紹長から

50両で買った大燈国師の墨蹟が偽物ではないかと疑惑が持ち上がり、訴訟にまで発展しましたね、京都所司代、幕府、五山の長老たちまで巻き込んで、結局、松岳が偽物をつくったと判明して大徳寺を放逐されました。

——大徳寺から買ったのなら本物だと思えますよね。

芳澤 悪気があったかどうかは不明です。おそらく「大燈国師の墨蹟はないのか」という問い合わせが殺到していたんでしょうね。断りきれない注文もあった「そこまでいうなら作るか」となったのかもしれない。同類の話は他にもあって、いまも人気の一休和尚も夥しい偽物が作られたそうです。それらもいまは数百年経つてるわけですから、判別の難しいものが多々あります。

——そんな墨蹟の世界を見分けるにはどうしたらよいでしょうか？

芳澤 一朝一夕にはいきませんが、墨蹟を勉強していく上で大事なバイブルが二つあります。一つは田山方南が編んだ「禅林墨蹟」（50頁下）。正篇・続編・拾遺とありますが、中国と日本の重要な墨蹟が網羅され、なんといっても写真が掲載されている点が画期的です。もう一つは江月宗玩の「墨蹟之寫」。これは

鑑定書の控えをまとめたもので、もちろん写真はないのですが、江月和尚が実際に見た感想が記してあって参考になります。ある偽物を見て「本人より上手い」なんて書いてありますよ（笑）。ちなみに本書に出てくる一休の8割はダメと鑑定されています。それだけ人氣があったという証でしょう。なお「墨蹟之寫」はいくつか類書がありますが、花園大学国際禅学研究所のホームページ上で崇福寺に伝わったものをデータベースとして公開しており、個人使用の範囲内であれば自由に閲覧できます。

——読者にオススメの、見ておくべき墨蹟を教えてください。



芳澤勝弘さん

